

II 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

令和2年の島根県の観光入込客延べ数は21,318千人であり、前年と比べると、11,673千人（-35.4%）減少した。

〈観光入込客延べ数〉

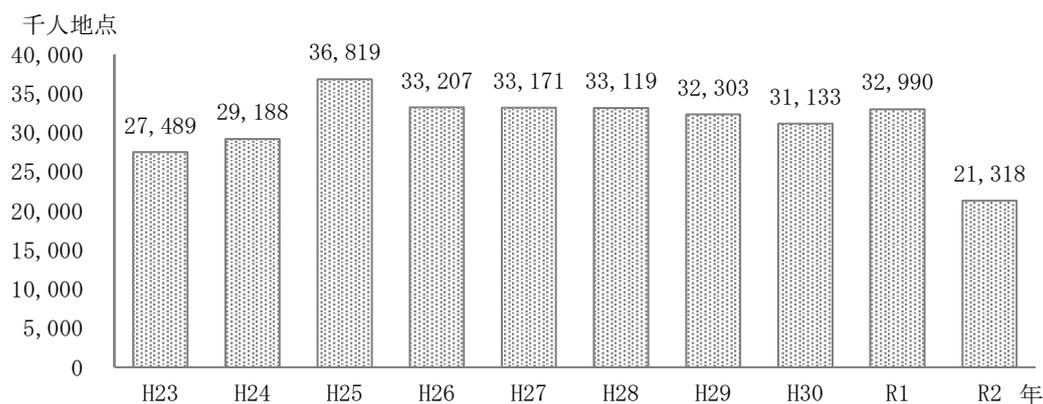
区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数（千人地点）	21,318	6,912	14,406
構 成 比	100.0%	32.42%	67.58%
対前年増減	-35.4%	+4.3%	-45.3%

注) 県内客・県外客の別は、観光入込客延べ数に観光地点アンケート調査で得られた県内客・県外客の割合を乗じて算出した。

【主な変動要因】

- ①新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による観光需要の減少
- ②観光庁の「Go To トラベルキャンペーン」による集客（7月下旬～12月下旬）
- ③「しまねプレミアム宿泊券」による県内観光客の集客（7月上旬～翌年2月末）

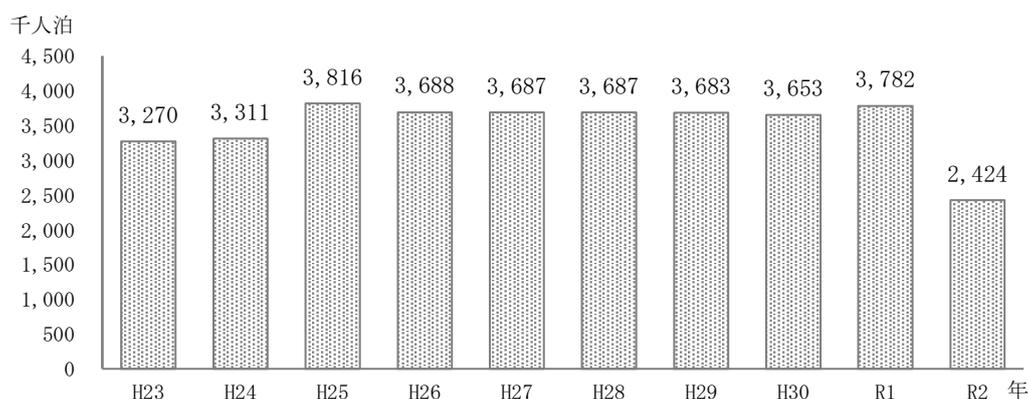
〈観光入込客延べ数の推移〉



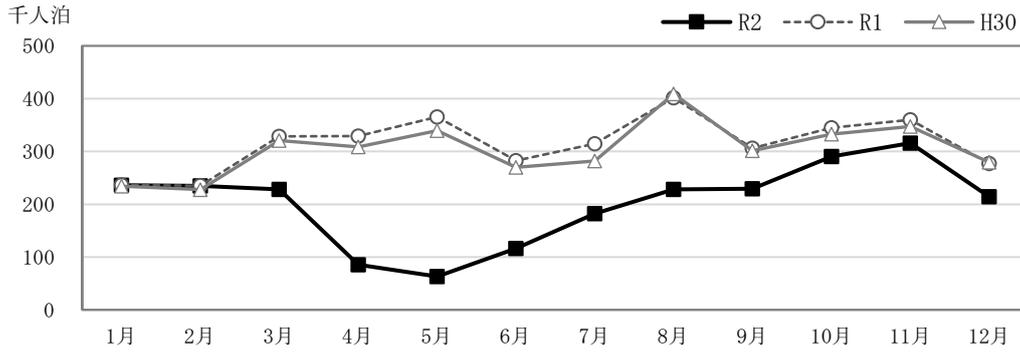
2. 宿泊客延べ数

令和2年の県内宿泊施設の宿泊客延べ数は、2,424千人であり、前年と比べると、1,358千人（-35.9%）減少した。

〈宿泊客延べ数の推移〉



〈月別宿泊客延べ数の推移〉



区 分	ホテル 旅 館	民 宿 ペンション	社会教育 施設	公共の 宿泊施設	キャンプ 場	合 計
宿泊施設数	251	102	5	34	30	422
宿泊客延べ数 (人泊)	2,165,931	65,756	15,512	89,222	87,455	2,423,876
構 成 比	89.4%	2.7%	0.6%	3.7%	3.6%	100.0%
対前年増減	-35.6%	-25.6%	-78.3%	-24.6%	-37.1%	-35.9%

3. 観光入込客実人数

観光入込客延べ数をもとに観光地点アンケート調査等で得られた数値により推計した観光入込客実人数は、9,129千人であり、前年と比べると、4,152千人（-31.3%）減少した。

〈観光入込客実人数〉

区 分	総 数	宿 泊 客		日 帰 り 客	
		県内客	県外客	県内客	県外客
観光入込客実人数(千人回)	9,129	99	1,510	3,043	4,478
構 成 比	100.0%	1.1%	16.5%	33.3%	49.0%
対前年増減	-31.3%	-14.7%	-37.3%	-25.6%	-32.9%

4. 観光消費額及び経済波及効果

観光地点アンケート調査で得られた観光消費額単価に観光入込客実人数を乗じて推計した令和2年の全県の観光消費額は、約752億円であり、前年と比べると、約549億円（-42.2%）減少した。

この観光消費額が県内に及ぼす経済波及効果（直接効果、一次波及効果、二次波及効果の和）は、1.25倍の約938億円と推計され、前年と比べると、約710億円（-43.1%）減少した。

注）経済波及効果は、平成27年島根県産業連関表を用いて推計。

○1人当たり消費額

区 分	観光消費額単価 (円)	対前年増減	観光消費額
			(百万円)
県内客・宿泊	25,767	+36.8%	2,550
県外客・宿泊	28,545	+2.4%	43,108
県内客・日帰り	2,549	-32.8%	7,754
県外客・日帰り	4,863	-28.3%	21,772
計	—	—	75,184

5. 外国人宿泊客延べ数

令和2年の島根県の外国人宿泊客延べ数は、14,574人であり、前年と比べると、83.5千人（-85.1%）減少した。

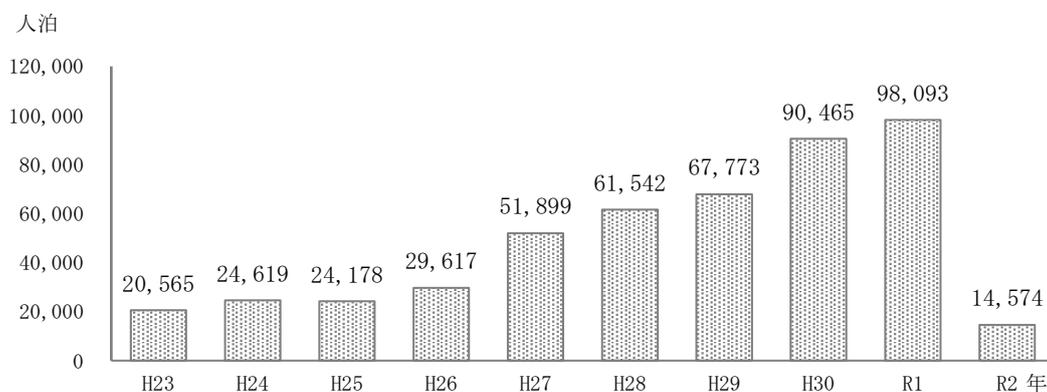
国・地域別では、台湾からが最も多く2,907人（構成比19.9%）、次いでベトナム2,167人（同14.9%）、中国1,776人（同12.2%）となっている。

〈外国人宿泊客延べ数〉

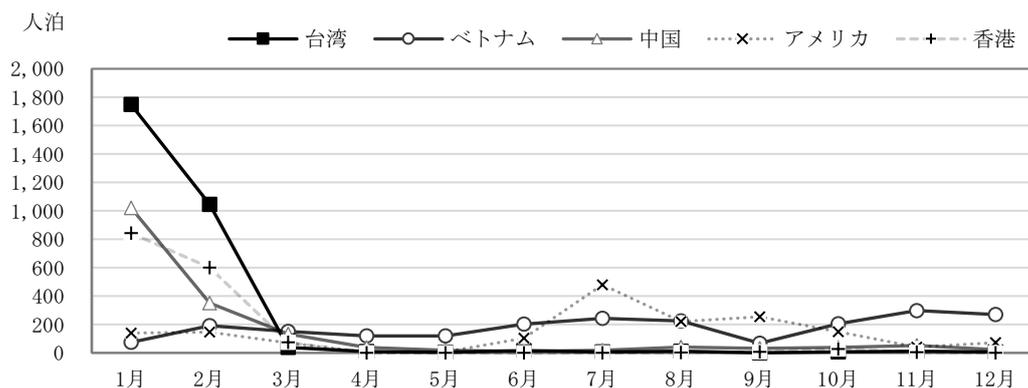
国・地域	宿泊客延べ数		対前年増減
	人泊	構成比	
台湾	2,907	19.9%	-86.3%
ベトナム	2,167	14.9%	+196.8%
中国	1,776	12.2%	-81.9%
アメリカ	1,689	11.6%	-73.6%
香港	1,556	10.7%	-89.7%
韓国	547	3.8%	-96.4%
フランス	449	3.1%	-91.9%
インドネシア	315	2.2%	-25.0%
シンガポール	223	1.5%	-83.6%
イギリス	201	1.4%	-89.0%
オーストラリア	199	1.4%	-91.0%
タイ	160	1.1%	-82.9%

国・地域	宿泊客延べ数		対前年増減
	人泊	構成比	
ドイツ	140	1.0%	-87.9%
フィリピン	121	0.8%	-67.4%
マレーシア	121	0.8%	-60.2%
インド	106	0.7%	-94.5%
カナダ	55	0.4%	-92.9%
ロシア	39	0.3%	-83.0%
その他アジア	391	2.7%	-59.9%
その他ヨーロッパ	316	2.2%	-92.9%
中南米	134	0.9%	-67.1%
その他オセアニア	50	0.3%	-89.8%
アフリカ	35	0.2%	-79.3%
その他	877	6.0%	-85.7%
合計	14,574	100.0%	-85.1%

〈外国人宿泊客延べ数の推移〉



〈月別外国人宿泊客延べ数（上位5カ国）〉



6. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの観光入込客延べ数の上位 10 箇所は以下のとおりである。

〈市町村〉

市町村名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲市	8,788,358	-29.6%
松江市	5,375,566	-48.6%
雲南市	985,795	-32.3%
津和野町	945,066	-21.9%
安来市	944,071	-36.6%
浜田市	938,866	-37.4%
大田市	812,130	-22.2%
奥出雲町	702,068	-19.6%
益田市	596,857	-31.7%
飯南町	336,810	-16.5%

〈観光地・観光施設〉

観光地・観光施設名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲大社(出雲市)	4,955,000	-21.8%
美保関(松江市)	788,734	-7.2%
日御碕(出雲市)	766,850	-29.9%
三瓶山(大田市)	516,400	+8.1%
太鼓谷稲成神社(津和野町)	500,352	-17.2%
道の駅湯の川(出雲市)	389,480	-16.8%
玉造温泉(松江市)	374,459	-39.1%
石見海浜公園(浜田市)	373,710	-33.5%
島根ワイナリー(出雲市)	337,470	-53.7%
道の駅キララ多伎(出雲市)	335,681	-23.5%

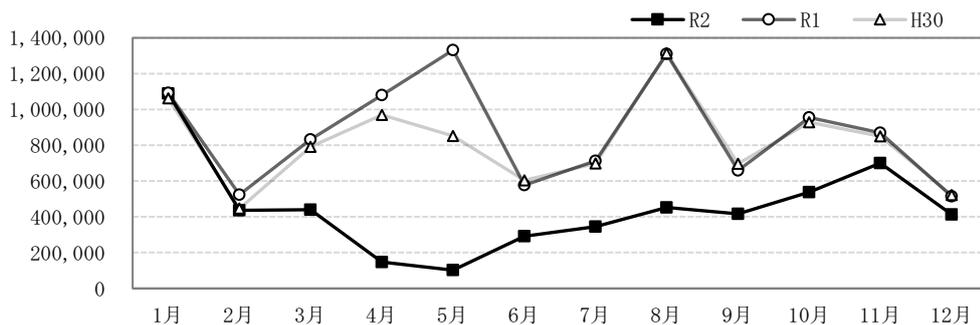
(2) 地域別観光入込客延べ数

地域別に観光入込客延べ数を比べると、出雲地域が最も多く、8,788 千人(-29.6%)、次いで松江地域 5,376 千人(-48.6%)、雲南地域 2,025 千人(-25.9%)、益田地域 1,724 千人(-25.1%)、浜田地域 1,212 千人(-35.5%)、大田地域 1,158 千人(-21.3%)、安来地域 944 千人(-36.6%)、隠岐地域 92 千人(-45.2%) の順となった。

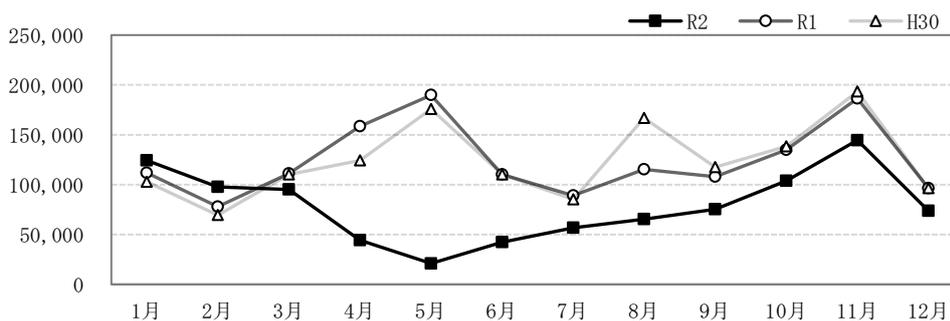
前年と比較して、すべての地域において観光入込客延べ数は減少した。

〈地域別月別観光入込客延べ数〉

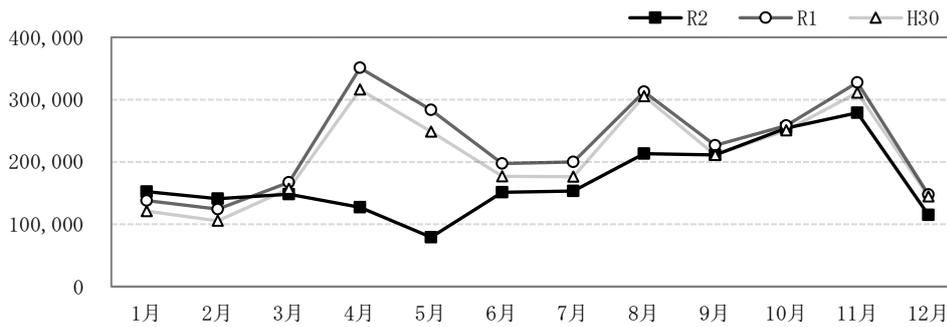
松江地域



安来地域

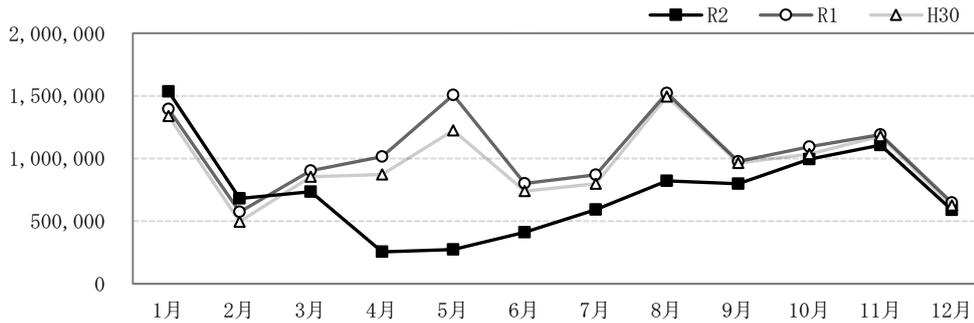


雲南地域



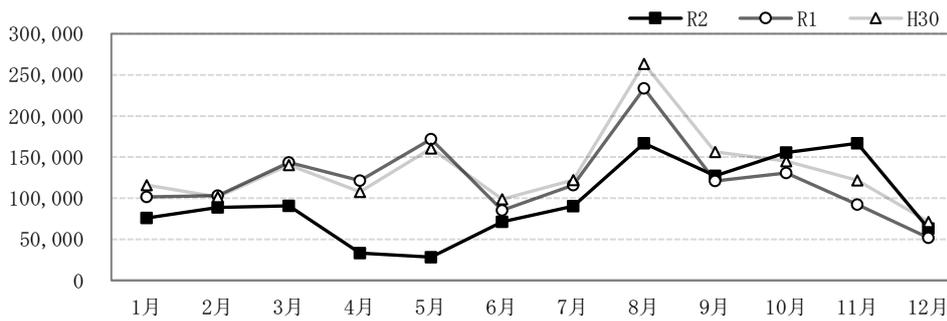
年	入込客延べ数
R2	2,024,673
R1	2,733,618
H30	2,522,847
対比	増減
R2対R1	-25.9%
R2対H30	-19.7%

出雲地域



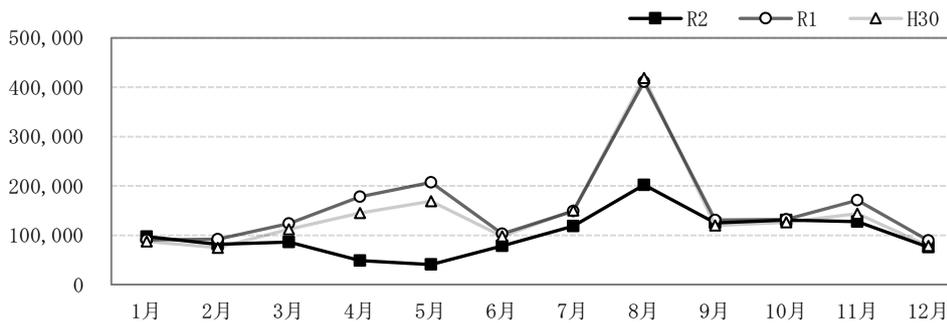
年	入込客延べ数
R2	8,788,358
R1	12,488,935
H30	11,618,836
対比	増減
R2対R1	-29.6%
R2対H30	-24.4%

大田地域



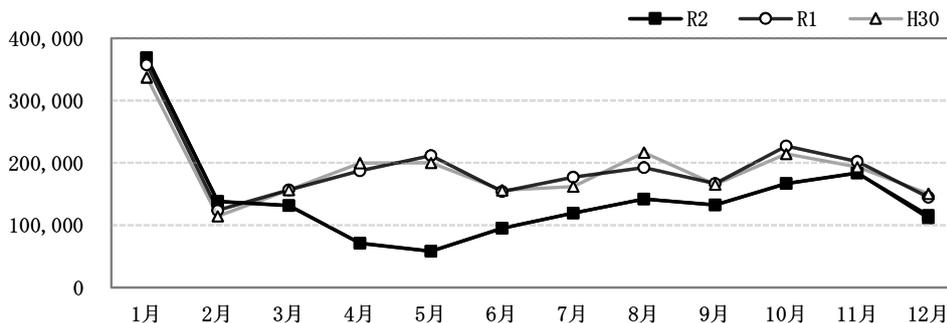
年	入込客延べ数
R2	1,158,094
R1	1,471,948
H30	1,605,169
対比	増減
R2対R1	-21.3%
R2対H30	-27.9%

浜田地域



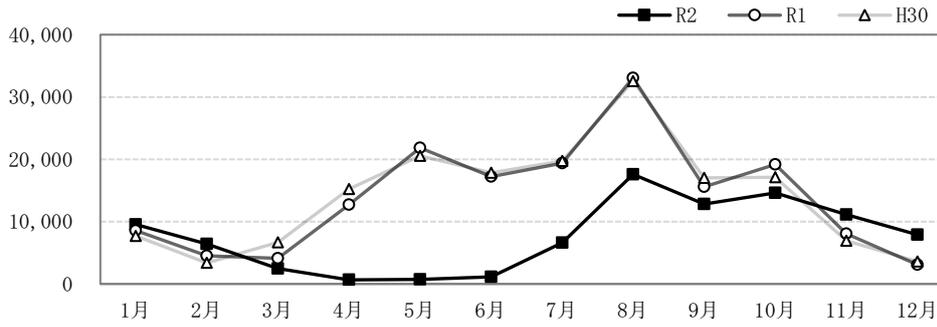
年	入込客延べ数
R2	1,211,560
R1	1,877,526
H30	1,724,468
対比	増減
R2対R1	-35.5%
R2対H30	-29.7%

益田地域



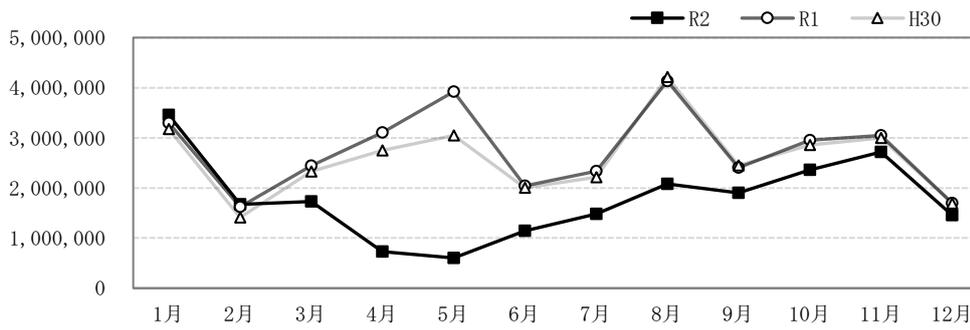
年	入込客延べ数
R2	1,723,609
R1	2,301,987
H30	2,266,011
対比	増減
R2対R1	-25.1%
R2対H30	-23.9%

隠岐地域



年	入込客延べ数
R2	91,719
R1	167,305
H30	168,296
対比	増減
R2対R1	-45.2%
R2対H30	-45.5%

全県

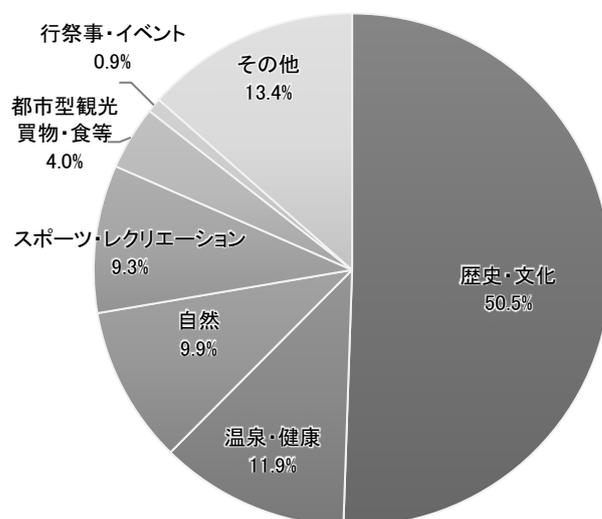


年	入込客延べ数
R2	21,317,650
R1	32,990,180
H30	31,133,287
対比	増減
R2対R1	-35.4%
R2対H30	-31.5%

(3) 行動目的別観光入込客延べ数

観光客の行動目的別（中分類）では「歴史・文化」が最も多く 50.5%、次いで「温泉・健康」11.9%、「自然」9.9%、「スポーツ・レクリエーション」9.3%、となっている。

〈行動目的別割合〉



行動目的 (中分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	10,771,112	-32.3%
温泉・健康	2,529,472	-31.9%
自然	2,109,184	-27.3%
スポーツ・レクリエーション	1,990,308	-28.4%
都市型観光 買物・食等	857,863	-44.8%
行祭事・イベント	193,831	-93.2%
その他	2,865,880	-12.7%

〈行動目的別（小分類）観光入込客延べ数の上位5区分（その他除く）〉

行動目的 (中分類)	行動目的 (小分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	神社・仏閣	7,876,760	-23.3%
温泉・健康	温泉	2,529,472	-31.9%
自然	海岸	1,240,355	-24.0%
歴史・文化	博物館	939,725	-46.3%
歴史・文化	美術館	482,073	-56.3%

7. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

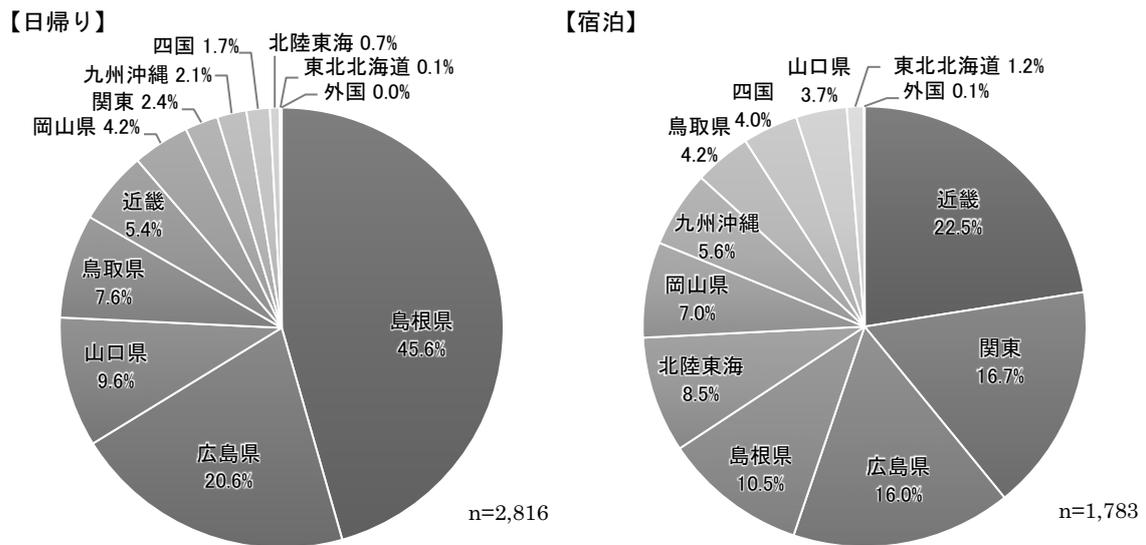
令和2年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析する。

（1）発地（住所）

ア. 日帰り・宿泊別入込客割合

日帰りでは、島根県が最も多く 45.6%、次いで広島県 20.6%であった。島根県は前年から 6.1 ポイント増加した。

宿泊では、近畿が最も多く 22.5%、次いで関東 16.7%であった。構成比は、前年から中国が 11.7 ポイント増加し、関東は 3.9 ポイント減少した。

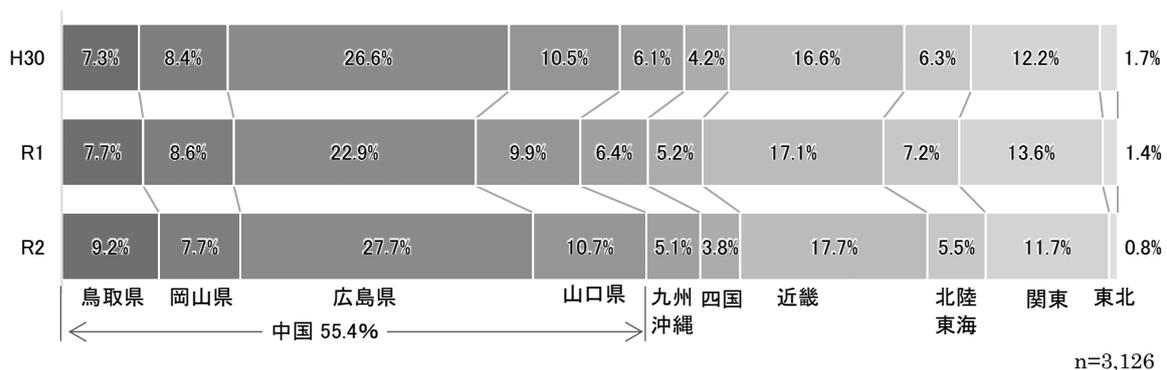


		東北	関東	北陸	近畿	中国	中国					四国	九州	外国
		北海道		東海			鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県		沖縄	
日 帰 り	R1	0.2%	3.1%	1.8%	6.4%	83.3%	8.1%	39.5%	6.2%	20.2%	9.3%	2.7%	2.3%	0.2%
	R2	0.1%	2.4%	0.7%	5.4%	87.5%	7.6%	45.6%	4.2%	20.6%	9.6%	1.7%	2.1%	0.0%
	対前年増減	-0.1%	-0.7%	-1.1%	-1.0%	+4.2%	-0.4%	+6.1%	-2.1%	+0.4%	+0.2%	-1.0%	-0.1%	-0.2%
宿 泊	R1	2.3%	20.6%	10.7%	22.1%	29.7%	2.1%	4.9%	6.6%	11.9%	4.2%	5.5%	8.4%	0.8%
	R2	1.2%	16.7%	8.5%	22.5%	41.4%	4.2%	10.5%	7.0%	16.0%	3.7%	4.0%	5.6%	0.1%
	対前年増減	-1.0%	-3.9%	-2.1%	+0.4%	+11.7%	+2.0%	+5.6%	+0.4%	+4.2%	-0.5%	-1.5%	-2.8%	-0.8%

イ. 発地別県外入込客割合

県外客の発地別入込客割合は、広島県からが最も多く 27.7%、次いで近畿 17.7%、関東 11.7%となっている。前年から広島県は 4.8 ポイント、近畿は 0.6 ポイント増加し、関東は 1.9 ポイント減少した。

〈発地別県外入込客割合の推移〉

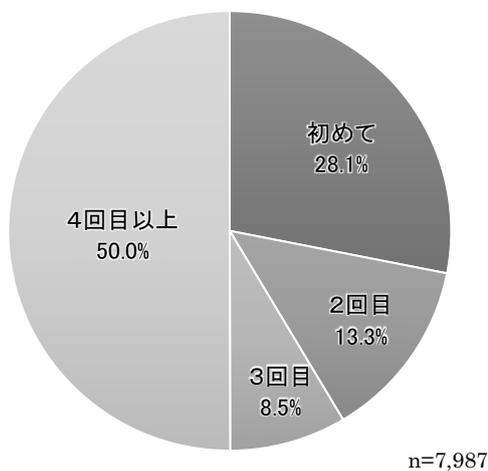


(2) 旅行回数

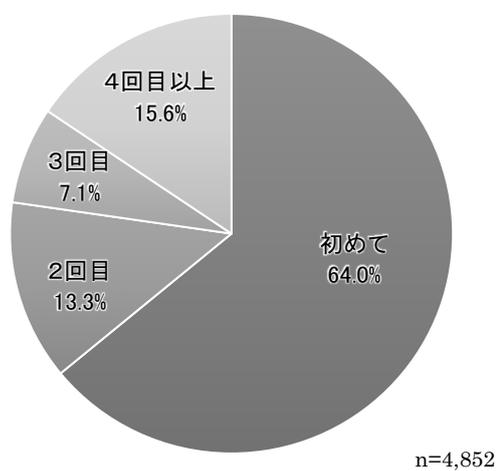
観光施設への訪問回数は、日帰りの場合は「4回以上」が最も多く、宿泊の場合は「初めて」が多い。島根県への訪問回数は、日帰り宿泊ともに「4回以上」が最も多い。

ア. 観光施設の訪問回数

【日帰り】



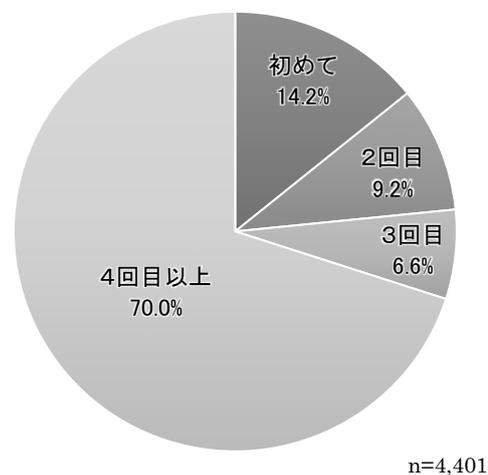
【宿泊】



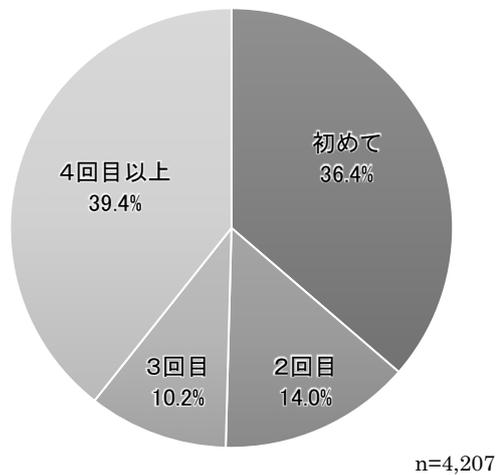
イ. 島根県の訪問回数

※この項目は県外客を対象に「島根県への訪問回数」を質問している。

【日帰り】



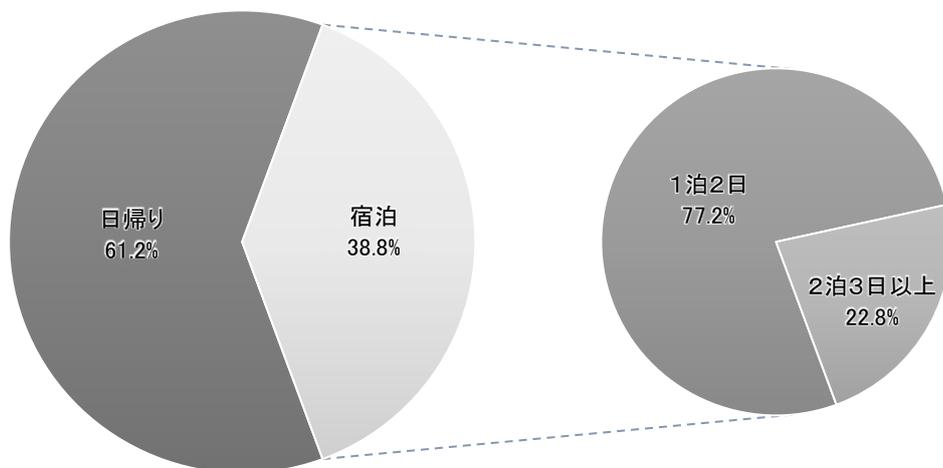
【宿泊】



(3) 旅行日程

「日帰り」が61.2%、「宿泊」が38.8%と、日帰り客の割合が高くなっている。

「宿泊」のうち、77.2%が「1泊2日」となっている。



n=4,599

(4) 宿泊する市町村及び宿泊施設

宿泊する市町村では「松江市」が49.3%、次いで「出雲市」が23.4%となっており、全体の約7割(72.7%)を占めている。

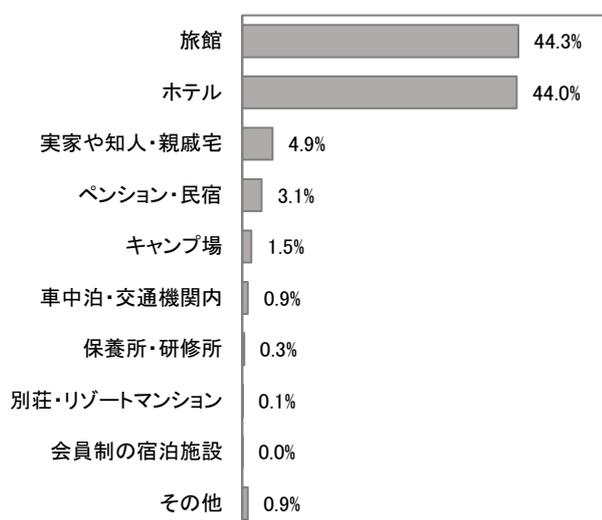
宿泊施設では「旅館」が44.3%、次いで「ホテル」が44.0%となっており、全体の約9割(88.3%)を占めている。

【市町村】



n=2,316

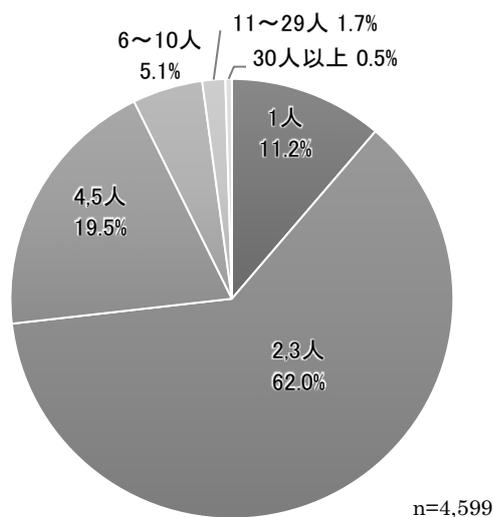
【宿泊施設】



n=2,316

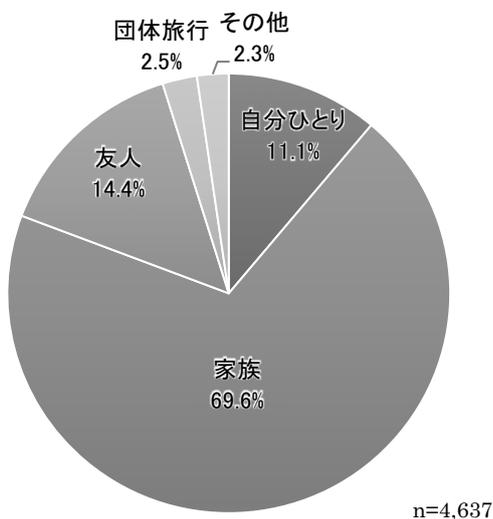
(5) 同行人数

「2、3人」が最も多く 62.0%、次いで「4、5人」が 19.5%となっている。



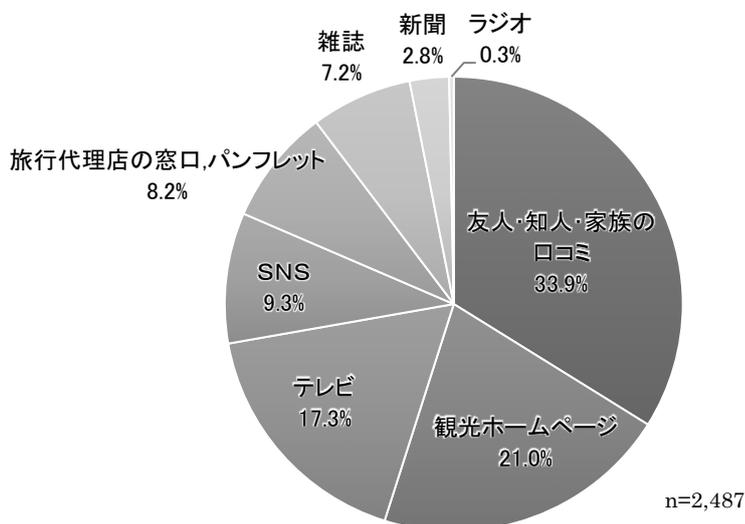
(6) メンバー構成

「家族」が最も多く 69.6%、次いで「友人」が 14.4%となっている。



(7) 旅行地を決定する際にきっかけとなった情報源

旅行地の情報を知っていた（その他を回答）を除くと、「友人・知人・家族の口コミ」が最も多く 33.9%、次いで「観光ホームページ」が 21.0%となっている。



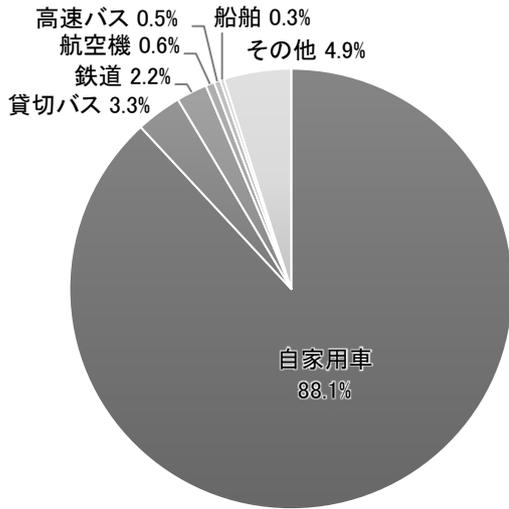
(8) 利用交通機関

ア. 日帰り・宿泊別利用交通機関割合

日帰りでは、「自家用車」が最も多く 88.1%、次いで「その他」が 4.9%、「貸切バス」が 3.3%となっている。

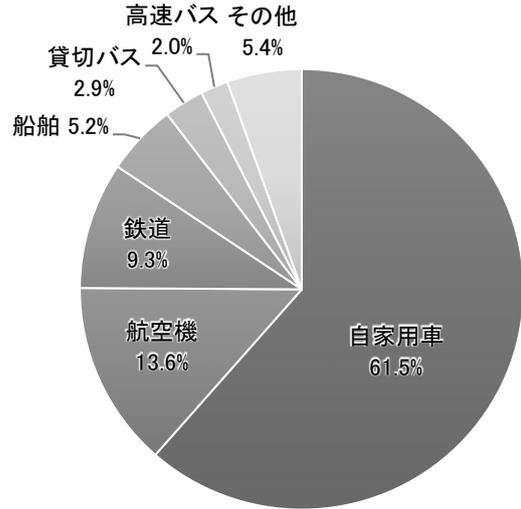
宿泊では、「自家用車」が最も多く 61.5%、次いで「航空機」13.6%、「鉄道」9.3%となっている。

【日帰り】



n=2,816

【宿泊】



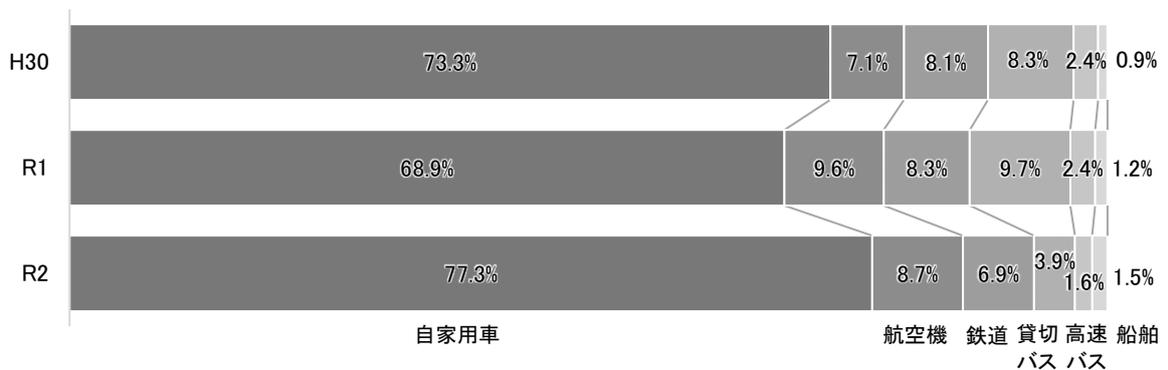
n=1,783

イ. 県外利用交通機関割合

県外客の利用交通機関をみると、「自家用車」が最も多く 77.3%、次いで「航空機」8.7%、「鉄道」6.9%となっている。

「自家用車」の割合は、前年から 8.4 ポイント増加した。

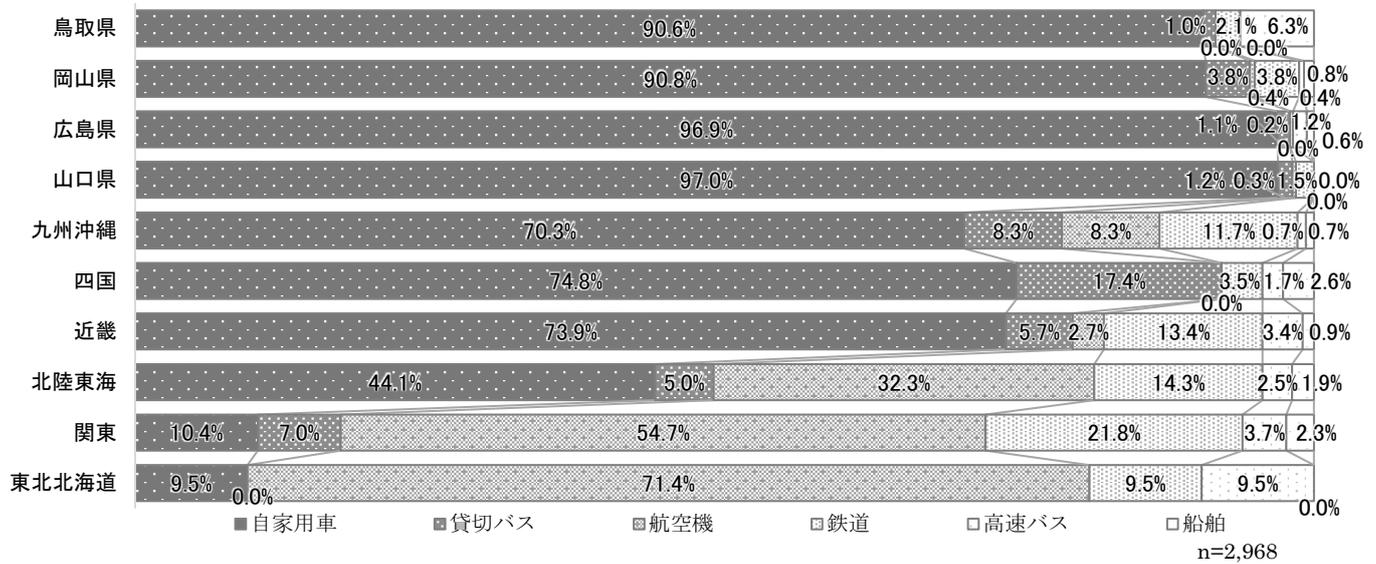
〈県外利用交通機関割合の推移〉



n=2,970

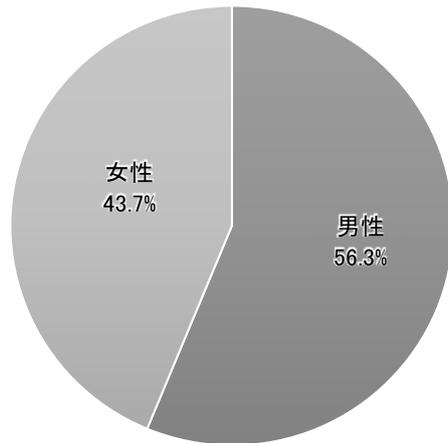
ウ. 県外地域別利用交通機関割合

県外客について地域別に利用交通機関をみると、「自家用車」が中国では9割以上、九州・沖縄、四国、近畿では7割以上を占めている。関東、東北・北海道では「航空機」の利用が最も多かった。



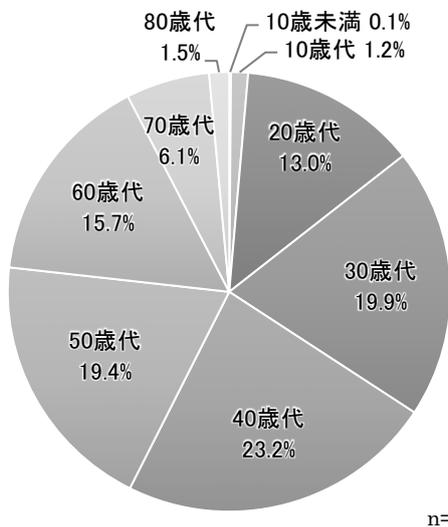
(9) 性別

「男性」が56.3%、「女性」が43.7%とほぼ同等であった。



(10) 年齢

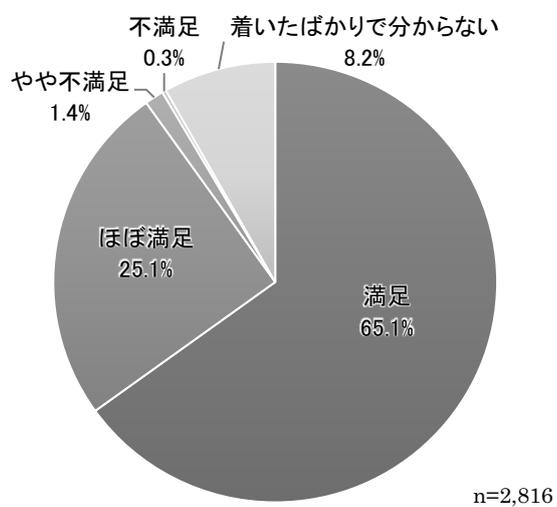
「30歳代」から「50歳代」がそれぞれ約2割ずつを占めている。



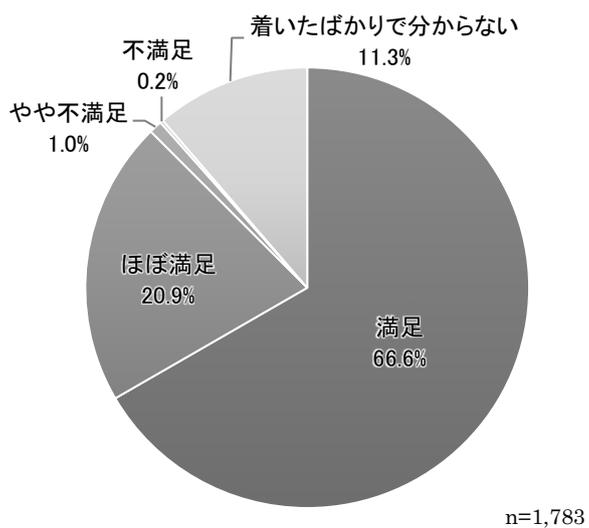
(11) 満足度

日帰り宿泊ともに、「満足」と「ほぼ満足」を合すると約9割を占めた。

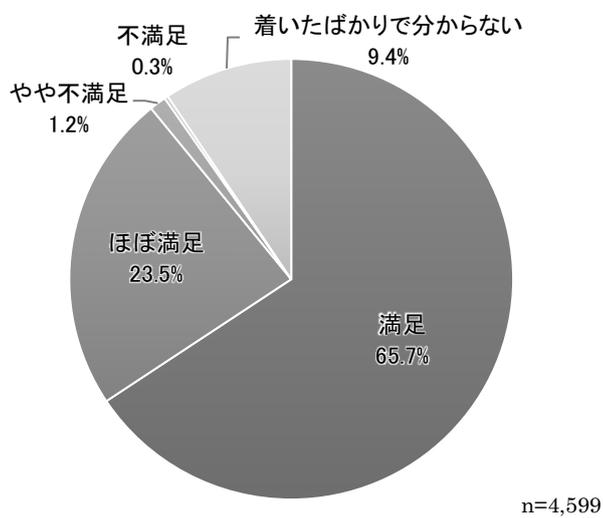
【日帰り】



【宿泊】



【全体】



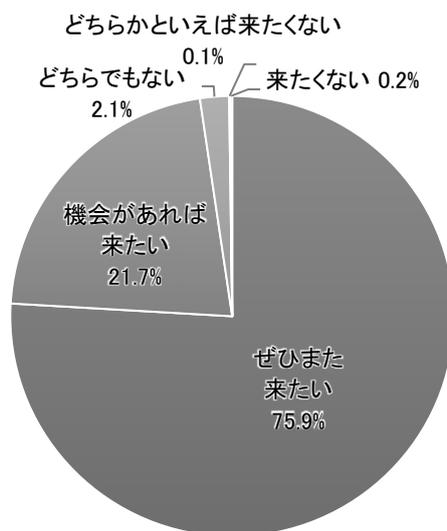
(12) 再訪意向

ア. 島根県及び観光施設への再訪意向

県外客の島根県への再訪意向は、「ぜひまた来たい」と「機会があれば来たい」を合すると 9割以上であった。県内客の観光施設への再訪意向についても同様の割合となっている。

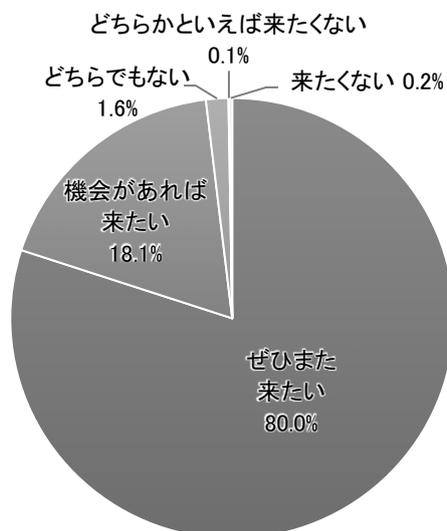
※この項目は、県外客には「島根県への再訪意向」、県内客には「観光施設への再訪意向」を質問している。

【島根県への再訪意向（県外客）】



n=3,128

【観光施設への再訪意向（県内客）】

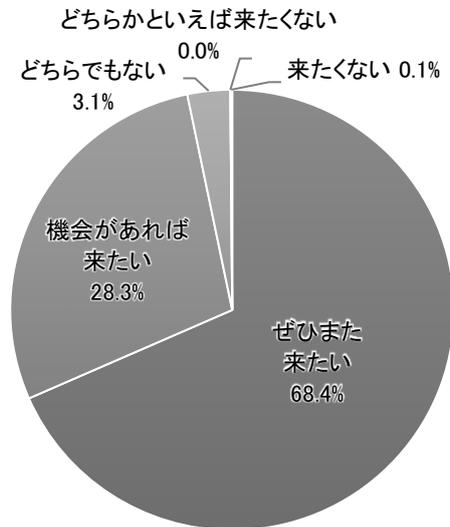


n=1,471

イ. 島根県への訪問回数別再訪意向

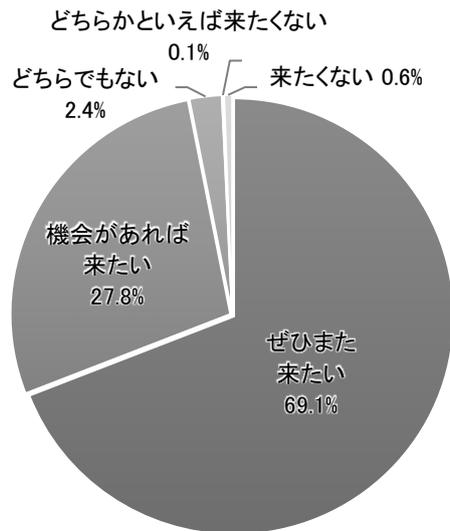
県外客の「島根県への再訪意向」について訪問回数別にみると、訪問回数が多くなるほど、「ぜひまた来たい」の割合が高くなっている。

【訪問 1 回目】



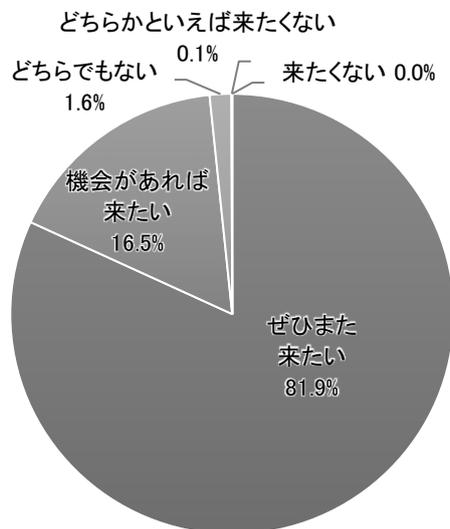
n=738

【訪問 2～3 回目】



n=676

【訪問 4 回目以上】

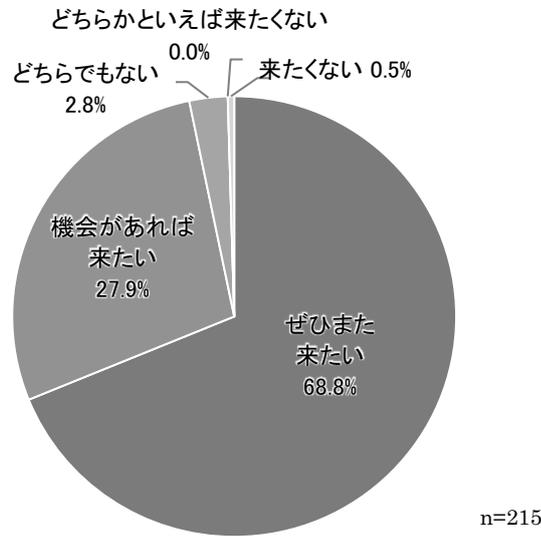


n=1,714

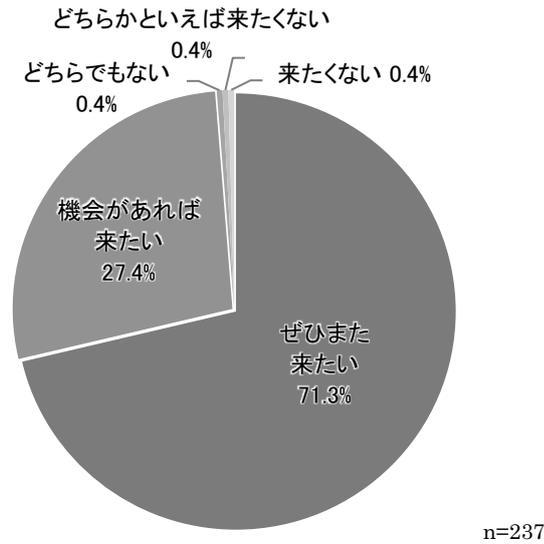
ウ. 観光施設への訪問回数別再訪意向

県内客の「観光施設への再訪意向」について訪問回数別にみると、訪問回数が多くなるほど、「ぜひまた来たい」の割合が高くなっている。

【訪問 1 回目】



【訪問 2～3 回目】



【訪問 4 回目以上】

